

会議の名称	令和2年度第1回八雲町介護保険事業運営委員会
日時	令和2年7月27日（月） 13時30分～13時55分
場所	八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ ふれあいホール
出席者	委員16名（欠席4名）傍聴者0名
会議の処理、てん末	
○令和2年度第1回介護保険事業運営委員会	
1. 開会宣言	
○保健福祉課長より	
<p>本日は、お忙しい中、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆さま方には日頃から町保健福祉行政の推進にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p>開催に先立ちまして、委員の変更についての報告がございます。</p> <p>八雲町社会福祉協議会長 秋松 等（アキマツ ヒトシ）さん、八雲地区退職者連合会長 小川 徹（オガワ トオル）さん、北海道八雲保健所長 堀 幹典（ホリミキノリ）さんが本委員会及び八雲地域包括支援センター運営協議会の委員でありましたが、退任されました。</p> <p>後任として、八雲町社会福祉協議会の 和高敏明（ワダカ トシアキ）理事、八雲地区退職者連合の 伊瀬司（イセ ツカサ）会長、北海道八雲保健所の 山本長史（ヤマモト ナガフミ）所長に委員とさせていただくこととなりました。皆さま方には、ご快諾をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>ここで、会議に先立ち委嘱状の交付をさせていただきます。</p> <p>委員になりました皆さまは自席でお待ちください。</p> <p>～【町長より委嘱状の交付】～</p> <p>それでは、新しく委員となった皆さまから、それぞれ自己紹介を頂戴したいと思います。</p> <p>（全委員自己紹介終了後）</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、令和2年度第1回介護保険事業運営委員会及び第1回八雲町地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>開会にあたりまして、町長よりご挨拶申し上げます。</p>	
2. 町長挨拶	
○町長より開催にあたっての挨拶	
3. 議題	
○保健福祉課長より	
<p>本日は、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため会議時間を短縮して進めていきたいと思っております。事前に資料をお配りしておりますので、事務局の説明は、概要のみとさせていただきます。ご理解の程よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、早速議事にはいります。</p>	

ここからの議事の進行については、大野会長にお願いいたします。

○会長より

それでは、ここから、私の方で進行させていただきます。

本日の会議の審議内容につきましては、八雲町情報公開条例に規定する非公開情報が含まれておりませんので全部公開として開催したいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

○委員より

《異議なし》

本日の会議ですが、先に八雲町介護保険事業運営委員会を開催し、終了後、引き続き八雲町地域包括支援センター運営協議会を開催するという流れで進めさせていただきます。

(1) 報告事項

①令和2年度保健・福祉・介護サービス支援事業について

②令和元年度介護保険事業特別会計決算見込みについて

③令和2年度介護保険事業特別会計当初予算について

④第7期介護保険事業計画進捗状況について

⑤指定地域密着型サービス事業所の指定の更新等について

⑥第8期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査の結果について

それでは、令和2年度第1回八雲町介護保険事業運営委員会を開催いたします。議題(1)報告事項、「① 令和2年度保健・福祉・介護サービス支援事業について」、事務局より説明を求めます。

○事務局より

はじめに、報告事項①の別紙1、保健・福祉・介護サービス支援事業でございます。高齢者に関する事業については、新たな事業や大きな変更点はございませんが、利用者負担金について、消費税の引き上げや使用料・手数料の適正化による見直しにより、一部変更となっております。

○会長より

只今の事務局の説明がありました。これにつきまして、質問・ご意見がありましたら、発言願います。

○委員より

なし

○会長より

なしということでございますので、決定致します。

それでは、報告事項「② 令和元年度介護保険事業特別会計決算見込みについて」「③ 令和2年度介護保険事業特別会計当初予算について」並びに「④ 第7期介護保険事業計画進捗状況について」、関連がございますので、一括して事務局より説明を致します。

○事務局より

報告事項②の令和元年度介護保険事業特別会計決算見込みについて、ご説明いた

します。なお、令和元年度の決算見込みと表現しておりますが、監査や議会の承認前であるため見込としておりますが、金額としては確定しておりますのでご了承願います。

2ページをご覧ください。まず、歳入についてであります。下段の方にあります科目が「繰入金」「低所得者保険料軽減繰入金」については、約1,400万円の増額となりました。昨年度、保険料軽減の強化が行われ対象者が第3段階までに拡充されたことによる増額であります。

次に3ページをご覧ください。歳出であります。【保険給付費】については、総額で15億2,300万円と前年度からの伸びはありませんでした。

保険給付費の中で、高額医療合算介護サービス費については、前年度比263%と大きく増加しておりますが、国保連合会の算定スケジュールの変更により、一時的に給付費が増加したものであります。

令和元年度決算につきましては、2ページ下段に戻っていただき、歳入決算額17億2,140万1,376円、歳出決算額16億7,082万5,812円、差引額5,057万5,564円となり、うち4,900万円を基金に積み立て、157万5,564円を繰越し、次年度における支出等が発生した場合の財源に充てます。

介護給付費準備基金についてですが、歳入と歳出の差により生じた剰余金は翌年度以降の介護給付費支払いの不足に備える財源とするため介護給付費準備基金として積み立てますが、令和元年度末現在は1億6,307万8,296円となっております。

続いて、報告事項③令和2年度 介護保険事業特別会計当初予算についてご説明いたします。

議案4ページ及び5ページとなります。予算総額は歳入・歳出それぞれ19億2,711万3千円 前年度対比2,863万1千円の増となっております。

まず、歳入であります。国庫支出金・支払基金交付金・繰入金の増額については、給付費及び地域支援事業の事業費の増額に伴うものであります。

次に歳出であります。保険給付費については、高額介護サービス費及び特定入居者介護サービス費がそれぞれ1,000万円以上の増額となっておりますが、昨年10月の介護報酬改定の影響及び施設入所者の増が要因となっております。

【地域支援事業費】【包括的支援・任意】の【包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費】及び【認知症総合支援事業費】の増減については、職員の人件費の支出先の見直しにより増減しております。

続いて、第7期介護保険事業計画進捗状況についてご説明いたします。

議案6ページ～8ページになります。まず、6ページの令和元年度の介護給付費等進捗状況についてでございますが、左側一番下の【総合計】であります。進捗状況が92.7%となっております。計画より実績が大きく下回っている状況であります。要因としては、要介護認定数が計画よりも大幅に下回っていることがあげられます。

7頁をご覧ください。認定者数の要介護 令和元年度の進捗率は93%となっております。認定者の減少に伴い、下段の利用者数の進捗率も合計で90%と計画を大きく下回っております。

8頁をご覧ください。中段の認定者数の状況ですが、令和元年度の認定率は19.1%と前年を下まわっております。介護認定率に大きく影響を及ぼす85歳以上の人口が増加しているのにも関わらず、認定率が減少していることは、町民の皆様の健康意識の向上や介護予防の取組などが浸透してきているのではないかと考えております。

以上で、報告事項②から④の説明とさせていただきます。

○会長より

只今の事務局の説明について、質問・意見等ございましたら、発言願います。

○委員より

なし

○会長より

それでは議案を決定させていただきたいと思っております。

次に、報告「⑤ 指定地域密着型サービス事業所の指定の更新等について」事務局より説明をお願い致します。

○事務局より

報告事項⑤指定地域密着型サービス事業所の指定の更新等について報告いたします。

八雲町の被保険者の方が、江差町にあります地域密着型特定施設入所者生活介護の利用にあたり事業所の指定の更新を行った件になります。

本来であれば更新に当たっては事前に運営委員会に報告し、指定の更新をするものでありますが、提出された書類内容の審査を行ったところ、必要な町の条例の基準を満たしていると認められることから、指定の更新について決定させていただきましたことを今回開催の運営委員会にてご報告させていただきます。

なお、今回の指定の更新にかかる事業所については、江差町にありますケアハウスかもめ荘、利用定員20名、指定有効期間は令和2年6月10日から令和8年6月9日としております。

次に、八雲町内に所在する認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護事業所の指定の廃止を行った件について、議案10ページから11ページをご覧ください。

恵庭市に所在する「すまいる株式会社」より、八雲町熊石鮎川町97番地3にありますグループホームすまいる熊石について、職員の確保が困難となり、事業の承継を試みるも承継先が見つからないとの理由により、令和2年5月28日付け事業所の廃止を行う旨届出があり、これを受理いたしましたのでご報告させていただきます。

以上、報告事項⑤の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○会長より

只今の事務局の説明について、質問・ご意見ございましたら、発言願います。

○委員より

ありません。

○会長より

それでは、議案を決定させていただきたいと思います。

次に、報告「⑥ 第8期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査の結果について」事務局より説明を求めます。

○事務局より

1 ページをお開きください。

調査の概要ですが、第8期介護保険事業計画策定にあたって、高齢者の生活状況や、在宅介護者の状況を把握するため、65歳以上の一般高齢者及び要支援認定者を対象とした、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と、在宅の要介護認定者とその家族を対象とした在宅介護実態調査のふたつの調査を実施いたしました。

有効回収数はニーズ調査が836票、回収率が55.7% 在宅介護実態調査は152票、回収率が66.4%と多くの方よりご協力をいただきました。

調査につきましては、今後 全国や近郊の市町村との比較などを行い、分析を進めていくこととなりますが、調査結果の特徴的な部分を報告いたします。

まず、ニーズ調査の報告です。

5 Pをお開き願います。家族構成では、一人暮らしが25%。4人に1人が一人暮らしになっており、前回の3年前の調査と比べても8%ほど増えております。

8 Pをご覧ください。外出の頻度は、前回より大幅に減少しており、35%が週1回以下の外出となっております。新型コロナウイルスの影響が大きく、前回との純粋な比較はできませんが、改善していく必要があると考えられます。

9 Pをご覧ください。下段の口腔機能についてですが、口腔機能の低下の兆候が3割の方にあり、この報告書にはありませんが、歯磨きを1割の方がしておらず、口腔ケアの重症性の意識を高める必要があります。

19 Pをご覧ください。下段の「認知症相談窓口を知っているかどうか」で知っているのは、3人に1人であり認知度が低く、周知が必要と思われれます。

次に在宅介護実態調査です。

35 Pをご覧ください。上段の「今後どのような介護を希望するか」では自宅での生活の希望が7割近くとなっており、前回調査より多くの方が在宅を希望されております。

37 Pをご覧ください。下段の介護者の就労継続可否では、9割の方が継続可能と答え、前回より3割ほど増加し、改善している状況です。

以上、アンケート調査結果の報告となります。

今後、結果を分析の上、八雲町の課題を特定したうえで、次回の委員会において計画の骨子案を提案したいと考えておりますので、よろしく願います。

○会長より

只今の事務局の説明について、質問・ご意見等ございましたら、発言願います。

○委員より

ありません。

4. その他

○会長より

それでは議案を決定させていただきたいと思えます。「4 その他」について、一括で事務局より説明を願います。

○事務局より

その他ですが、次回の開催についてです。次回の委員会は10月～11月に予定しております。内容としては、計画の骨子案を提案し、皆様からのご意見をいただきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

その他についての説明は、以上となります。

○会長より

皆様から質問・意見等ございましたら、発言願います。

○委員より

なし

○会長より

ないようですので、これで、第1回八雲町介護保険事業運営委員会を閉会させていただきます。